



脳ブラシ

鳥などの小動物の脳みそをかき出す専用のブラシ。
薬局や100円ショップでは「歯間ブラシ」という商品名で売っている。



題字「ほねほねボード」前田 団員 作

ホネホネ団通信 16号 2012年6月23日発行
なにわホネホネ団事務局
〒546-0034
大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館
TEL : 06-6697-6221 FAX : 06-6697-6225
wadat@mus-nh.city.osaka.jp

なにわホネ道具

ホネホネ团的ホネ道具特集



カリカリ

骨についた屍蠟（しろう）を除去する専用の道具。カリカリを使って骨の仕上げをする作業もカリカリという。見ているとなぜか歯が痛くなる気もするけど気のせい。

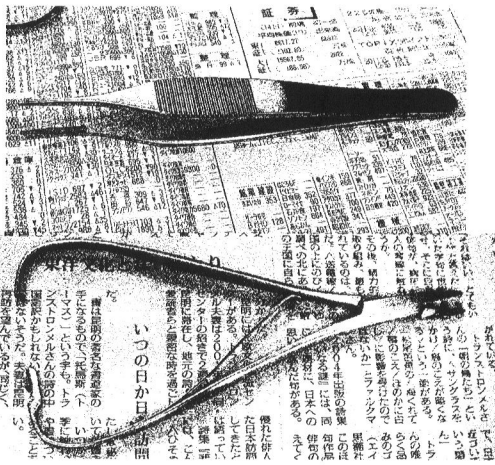


私の解体アイテム

手先が不器用な私にとって、アドソン鑷子と持針器は必須アイテムである。「鑷子」とは、ピンセットのこと。アドソン鑷子は普通のピンセットに比べて指で押さえる部分が幅広くなっている。その形状から「コブラ型ピンセット」とも言われる。また、先端までの長さが普通タイプよりも短いため、押さえるの広さともつまむ力が入りやすくなる。細かい筋肉や腱をつまんで引き剥がすときに使っている。



持針器は、本来は手術のときに縫合する針



右：上がコブラ型ピンセット、下が持針器

↑
これは 卒業した外科医 おうちが歯医者さんの団員さんから寄贈に
さんからもいきました。 もらっています。 カリカリ

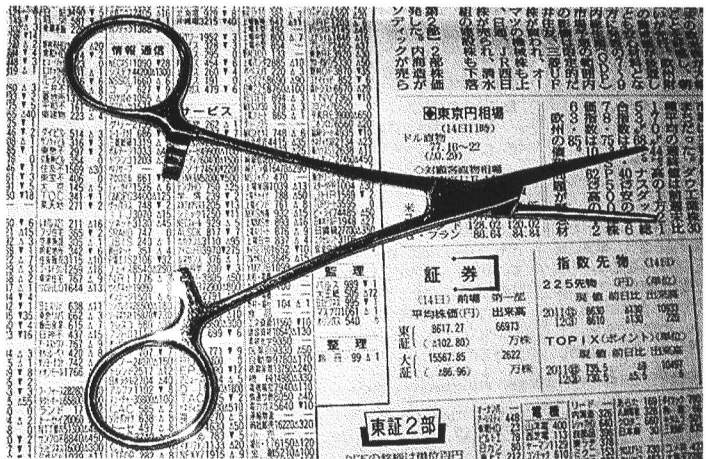
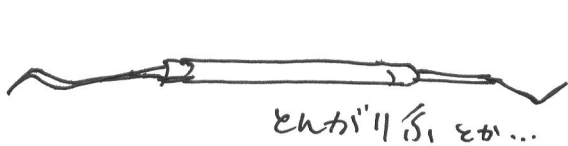
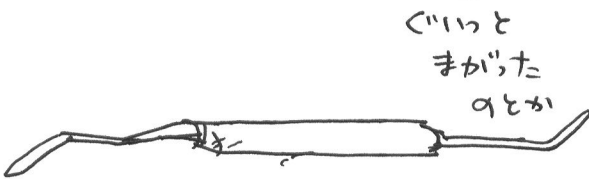
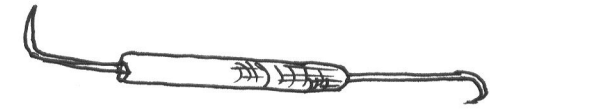
をつまむ道具で、一見ペンチに似ている。グリップエンドにストッパーがついていて、針をつまんで保持することが出来る。これは「もう一本手がほしい」状態のときに使うと便利だ。つまり、皮や筋肉の一部を引っ張っておきたいときなどに使うのである。魚釣りの毛鉤を作るときに使っている人もいる。



同じ目的に使うのに鉗子もあるが、鉗子ははさみのように指を輪に入れるため、持針器よりも使いづらい気がする。まあ好みの問題ではあるが。いずれの道具も一般には市販していないので手に入りにくい。私はひさんにお願ひして取り寄せてもらっている。

松下

カリカリには
いろいろなタイプがあります。



左：鉗子

骨格標本を作るのつて時間も手間もお金もかかります。そうお考えのあなた！時間と手間はかかりますが、お金はかかりません！今回は、なるべくお金をかけたくないブー太郎、ニジが使える100円均一グッズをご紹介します。

まず手袋。感染症等の予防に必須です。いつもホネホネ団で使っている手袋。何気なく使っていますが、あれて意外にします（機能性と値段とリスクで考えると高くはないですが）。食品として流通している手羽先や豚足などを実習で使う場合は、100円均一で100枚入りの薄い手袋でも事足りるでしょう。本格的に解剖を行う場合はキッチン用のゴム手袋があります。ゴムが厚いので細かい作業には向きませんが、お次はメス。さすがに100円均一では売っていません！が、ハサミはなんとかなります！それがクラフトバサミです（写真）糸きり用のものと紙用のものがあります。糸きり用のハサミは持ち手部分のプラスチックの強度が弱く、力を入れないと割れる危険性があります。紙用は、強度は問題ありませんが刃先が少し丸いです。また使えるかは分かりませんが、カミソリも売っています。7本入りで1000円です。一番シンプルなカミソリで、横滑り防止のストッパーが付いていないのが良いでしょ

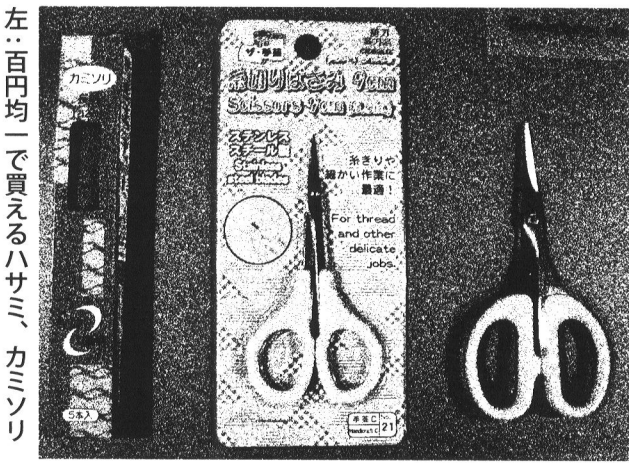


使える100円均一グッズ



う。デザインカッターは細かい作業に向いていますが、刃先が折れやすいので注意が必要です。大きめの曲がるまな板は作業台として使えそうですし、ビデオケースは中で解剖すれば周りに血痕がつかなくて良さそう（うちでは飼育ケースとして重宝しています）。ホネホネ団の使用法で見ると、いつも行っている100円均一がもつと面白くなりますよ！ご存知と思いきませんでした。オキシドールもあります。100円均一なのでユニパックで空気を抜いて使えばなんとかなりそうです。

山田 (ニジ)



左：100円均一で買えるハサミ、カミソリ

だんちよーは 洗たくシート (ニホいXツツの) を 今まび 200枚くらい かってます。





メスをデコってみました



既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、私のメスハンドルはアクリルのラインストーンでキラキラしております。よく、ラインストーンの間には肉片が入りこんで洗いにくくないか？ラインストーンが取れないか？などご心配(?)の声を頂く事も多いのですが、肉片が入り込む事はないです。また、ストーンが取れていくことも承知の上です。もう、メスをデコレーションして1年と少し経ちますが、月に1〜2回の使用でラインストーンは一部剥落しましたが、多くは脱落する事なく耐えております。予想外に持ちこたえているな、と思っております。



少し前に女性の間でありとあらゆる物をデコるのが流行りました。携帯電話、電卓、手鏡、名刺ケースなどなど。当時、私も無謀にもデコに手を出して、無謀にも色んな物をキラキラさせようとたくらみました。しかし初心者がいきなり携帯電話など日常生活で多用し、人の目にも触れ、さらにセンスを問われるものをデコるには勇気も根性もセンスもありません。で、面積も小さく、使用頻度も少なく、使用場所も博物館の実習室だけ(当時)は、それで、さらに自分の持ち物である目印にもなるだろうというくらい軽い気持ちでメスのハンドルをデコってしまえ!となつたわけです。

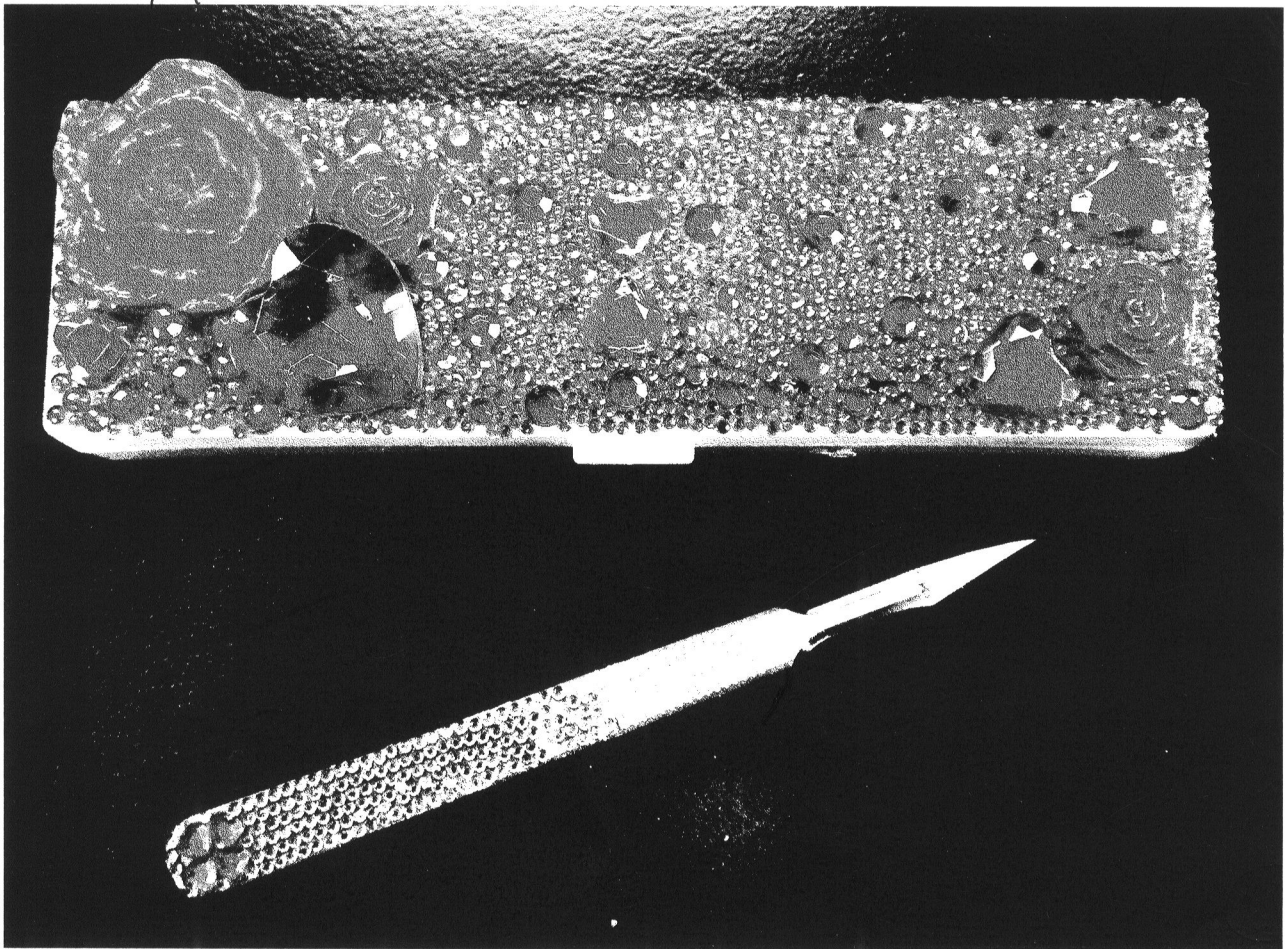
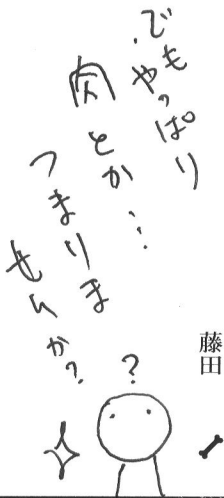
方法はとても簡単です。



- ① まず、デコりたい面の汚れを拭いて
- ② デコ用のボンドをヘラで均一に塗って、
- ③ ピンセットでアクリルストーンを並べて行くだけです。あとは乾けば出来上がり。マイメスやピンセットを入れておくケースも赤いパーツやストーンでデコりかけましたが、面積が広過ぎて、途中で力つきてそのままです。



もしホネホネ団で、ご自分の道具をデコってみたい団員さんがいらっしゃったら、お気軽にご相談ください。藤田の手元にアクリルストーンやパーツがまだありますので、お好きなのを差し上げます。ボンドはご自分で用意ください。「作業中にアクリルストーンが脱落したら、回収して標本には残さない」などの注意を払いながら、みなさんもマイ道具をデコって楽しいホネホネ活動をさらに楽しくしてみませんか。



左: カラーでお見せできないのが残念なキラキラなメスとケース



活動報告

シマウマ解体記

2月16日、団長からの突然のメー
ルで、シマウマの解体を大阪市立自然

史博物館で行うという連絡が入った。興味のある学生にも声をかけて、同僚の彫刻家の先生とともに2日後の18日に博物館へ向かうことになった。解体当日、関西は朝から大雪で寒さが厳しい1日だった。雄琴からの電車のダイヤも乱れ、解体の開始時間に間に合うのか冷や冷やしたが、少し早めに家を出ていたので事無きを得た。あれほど大津は寒く冷たかったのに、大阪長居公園は晴れて気持ちの良い天気、まさに解体日和。屋外に横たわるシマウマは、すでに内臓を抜かれてい

たが、まだ生気を感じさせる新鮮なものだった。悪臭はない。解体が始まるとホネホネ団員が一齐に群がる。集中力と好奇心にあふれた団員たちの手によって、見る見る間にシマウマの特徴的な模様を持った皮が剥がされていく。僕はその一部始終を記録するため、ビデオカメラを数時間にわたって回し続けたのだが、カメラを固定しての定点観測だったので、時折スケッチをしたり、カメラを持って動き回ったり、解体を手伝ったりと忙しく動き回った。

解剖ではなく解体が目的なので、細かく



2012. Feb. 18

上下：当日スケッチしたもの 次ページ：後日写真から描き起こしたもの

観察する時間はあまりなかったが、後肢の関節の精巧な動きなどを実際に見ることで、図版だけでは得られない情報に触れることが出来たのは貴重な経験だった。この個体は歯のかみ合わせが特異で、少々受け口だったため下顎の小白歯が犬歯のように尖っていた。一瞬、なぜ雌なのに犬歯があるのか驚いたが、よくよく見ると後端が深く摩擦した小白歯が残っていたのである。それ以外の歯もほぼ限界まで使われており、口の中には死の直前まで食べていたであろう植物も残っていて、大往生であったことが偲ばれる。時折、雪の降る空模様だったが、寒さも忘れて作業に集中する一時はとても楽しかった。血や内臓が苦手だと言っていた同僚の先生も、皮剥ぎに没頭するあまり、最後には全く気にならなくなっていたようだ。一緒に行った学生たちも、



2012. Feb. 18

見学だけに飽き足らず、最後には解体作業を手伝っていた。解剖書と見比べながらの解体は、とても勉強になったようだ。寒さも気にならず、楽しいばかりの1日だった。

今回のような貴重な場に呼んでくださった、西澤団長始め、ホネホネ団団員の皆様、場を提供してくださった大阪市立自然史博物館、そして、遺体となったシマウマに感謝の意を表します。ありがとうございました。

成安造形大学
芸術学部芸術学科
イラストレーション領域
准教授 小田隆

2012年6月23日入団いたしました。
2012-45 現在 左前足の骨を
むけてる



活動報告

家庭で作る骨格標本補遺

ウズラ本を書いたとはいえ、まだまだ修行中の身。色々質問に答えたり、より良い方法を試したりと、ちよつとずつ進歩しています。そこで今回アセトンの取扱について、洗剤を用いた脱脂について補足しました。

アセトンの危険性

アセトンを使用中は火気厳禁です。取扱いは十分注意してください。アセトンはマニキュア除光液やエンジンやブレーキなどの機械部品の洗浄剤として一般に用いられている有機溶剤の一種で、常温で高い揮発性を有し、強い引火性があります。消防法により危険物第四類（第一石油類 危険等級2 水溶性）に指定されています。一定量以上の貯蔵には消防署への届出が必要で、一定量以上の取り扱いは危険物取扱者乙四類か、甲種免許所持者でなければなりません。脱脂で使用する程度の量では問題ありません。大量に貯めこまないようにしましょう。アセトンは生物の体内にも存在し、毒性も低いですが、まったく無害というわけではありません。大量に吸引すると頭痛や目、喉への刺激、意識を失うことだってあります。ヒト経口推定致死量50〜75gほどなのでぐいっと飲んだりしないように。

アセトンの容器

アセトンは様々な油脂を良く溶かし、脱脂に便利ですが、様々なプラスチック製品も溶かしてしまいます。アセトンは買ってきた容器で保管しましょう。脱脂などに使用する場合はポリプロピレンやポリエチレン製の容器を使います。それ以外の、たとえば透明度の高くて硬いアクリル製のタッパーは溶かしてしまいます。普通のタッパーはポリプロピレン製なので問題無く使えます。ただし、長期間保存すると容器が劣化して破損し、漏れるかもしれません。使用後は買ってきた容器に戻して保管しましょう。

いろいろ恐ろしいなことを書きましたが、簡単にまとめると以下の通りです。

- ・アセトンの近くで火気を使用しない。
- ・換気を十分にします。
- ・必要のないときは密閉し、フタを開けっ放しにしない。
- ・タッパーはポリプロピレン製のものを使用する。

（白っぽくて柔らかい、普通のタッパー、材質は書いてあります）

灯油やペンキの薄め液などと同様の使い方をしていけば全く問題ありません。くわえ煙草で移しかえたりするのは明らかにダメです。実際これで火事になって死亡した方もい

広告

— 好評発売中！ —
『家庭で作る骨格標本』

佐竹 敦司 著
2010年刊 24ページ
簡易製本 価格 500円



ます。

有機溶剤を使わない脱脂

アセトンやベンジンは強力に脱脂してくれますが、取り扱いや入手に抵抗がある方もいるでしょう。ホネの脂を抜く方法はいろいろあります。ただ単に水に浸けておくだけでも微生物が繁殖して脂を分解してくれます。ただし時間がかかるし、「とても良い薫り」がします。なにしろ脂を腐らせているのですから、一般家庭ではちよつと許してもらえそうにありません。そこでお勧めなのが洗剤で煮る方法です。私は100均で買った粉末の洗濯洗剤を使っています。ある程度の消臭、漂白効果も期待できるのではないのでしょうか。洗剤とアセトンで2重に脱脂して、より脂が

抜けて美しいホネに仕上げることも可能です。

・用意するもの

洗剤：粉末の洗濯洗剤です。酵素パワーのなんちゃらかかです。ほんの少しでいいです。ナベ：大きい方が良いですが、調理用の鍋と共用ってわけにはいきません。ホネが浸かる程度の大きさの100均の雪平鍋で十分ですのでホネ鍋を用意しましょう。

お茶パック：各部分ごとに小分けします。排水口の水切りネット：小分けしたお茶パックを一まとめにするのに使います。目が粗い方が良いです。

割りばしなど：沈めたり、取り出したりするのに使います。爪楊枝でも十分です。素手で

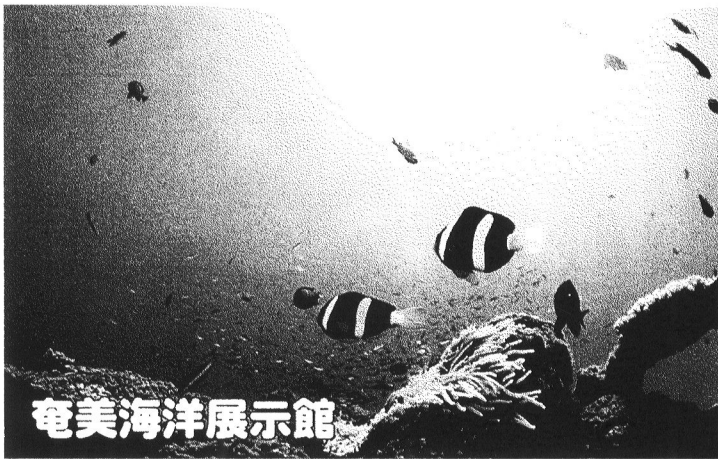
活動報告

奄美海洋展示館

名瀬市街から少し車で行ったところにある美しい大浜海岸にあります。「美しい砂浜」ですので「拾い物」には向きません。



玄関を入つてすぐにある大きな水槽でのんびり泳いでいるのは奄美大島近海で見られる魚達や海亀たちです。海亀達はとても愛想がよく、水槽脇の階段を上がつて行く時もついて来てくれます。その理由はすぐにわかりました。奄美海洋展示館では飼育員さんが海亀



奄美海洋展示館

右：奄美海洋展示館チケット

の説明をしてくれながら海亀のこともたちにレタスの餌やりをさせてくれるのです。私たちが訪れた時は生後8ヶ月のアカウミガメとアオウミガメを抱っこまでさせてもらえました。



さらにこの大水槽の通路を挟んだ反対側に



右：クジラのホネ

は、過去に浜に打ち上がったクジラ（種名を失念しました）の椎骨、肋骨が並べられており、触り放題、持ち上げ放題です。この時も飼育員さんのお勧めでクジラの骨を持ち上げて記念写真パチリ。



美しい貝殻や、ハネガイ、ユムシ、スカシカシパンなどの生体展示なども素晴らしいです。

藤田



トンカツを揚げられる人なら不要です。



・方法

各部分ごとにホネをお茶パックに小分けします。左右がわからなくなりそうなら、紙切れに鉛筆で「右」「左」と書いて入れておきます。紙は普通紙でもいいですが、なるべく水に強いもの、トレーシングペーパーの切れ端なら文句なしです。お茶パックを水切りネットに入れて一まとめにします。こうしておくと取り出したり、洗ったりするのに便利です。ホネを鍋に入れ、洗剤をほんの少しふりかけます。洗濯機にひと匙入れるのですから、小鍋にはほんの少しです。入れ過ぎると泡があふれてコンロを汚してしまいます。中火〜弱火で加熱します。ホネが沈むようについてやりましょう。沸騰する前に火を止めます。火を止めたら少し放置して冷めます。煮物で味が最もよくしみるのは、じんわり冷めてゆく時だそうです。程良く冷めたら水切りネットごと良く水洗いして洗剤を落とします。所要時間20〜30分程度ですのでゲリラ的に手早くすませましょう。お茶パックから取り出し、次の工程に移ります。漂白するなら少々湿ったままでも良いですし、さらにアセトンで追加の脱脂をするならよく乾燥させます。

佐竹



私物 骨 標本

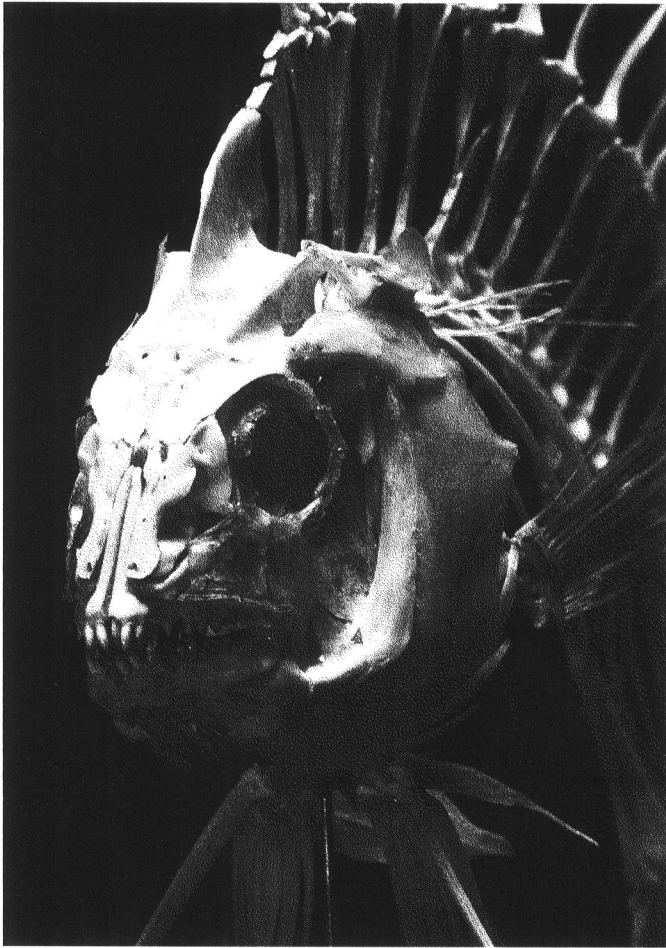
ホネホネ団には私物の標本を所有している方が多数いると思われます。拾ったホネや、組み立てたりもらったホネ、ホネにする予定の死体など。さまざまな私物標本も紹介していきたいと思います。

魚全身標本番号

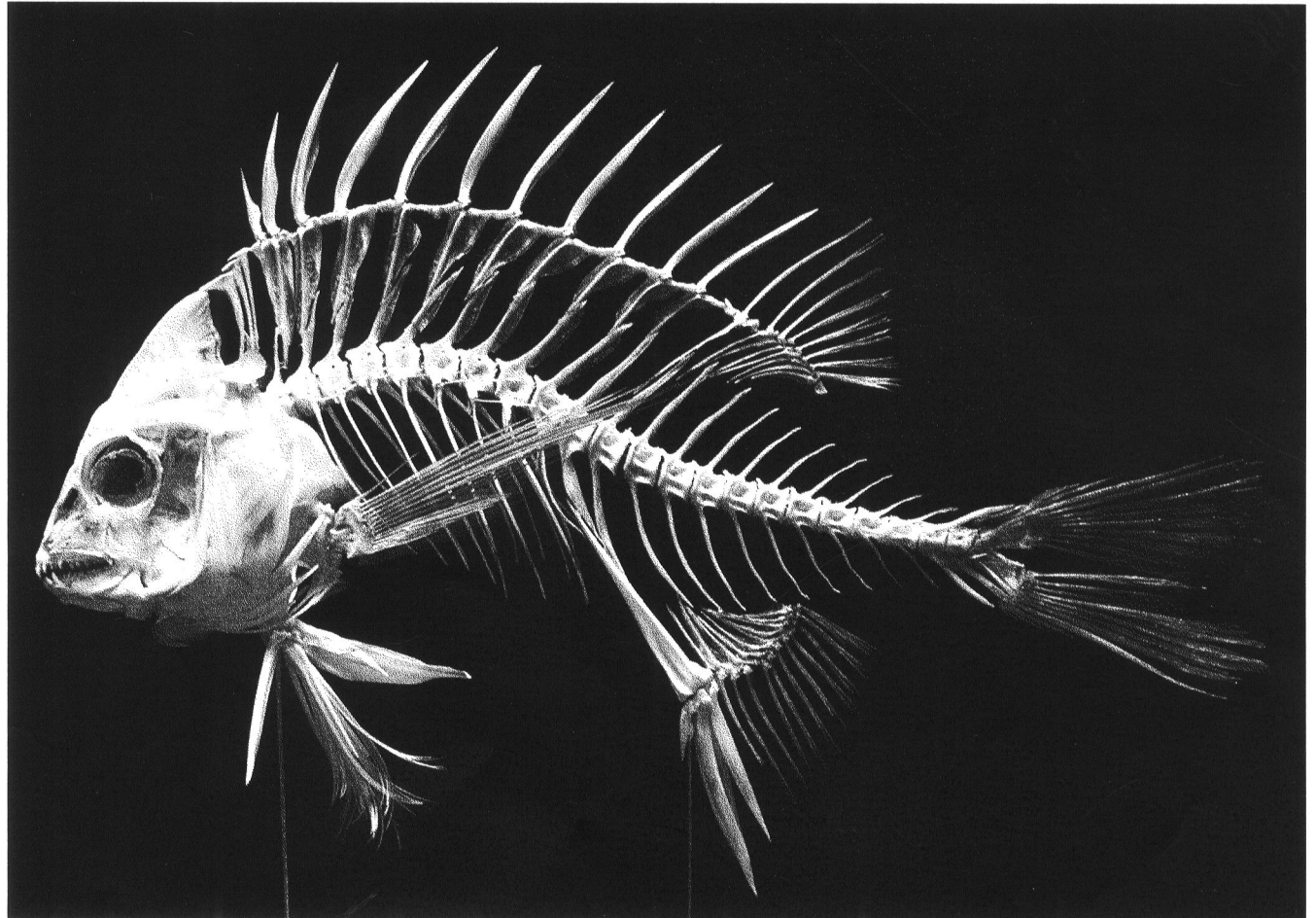
頭だけならホネホネ合宿でコイの標本を作ったのですが、出来あがったのはコイ頭の干物：それ以来魚には苦手意識があまりまし

た。そこで、自然史博物館の室内実習に参加して、魚の体について勉強してみようと思っただけです。H学芸員の解説付きでキチヌの頭をバラしてみると、なんだか組み立てられそうな気がしてきました。そこでバラバラにして台紙に貼った頭部と肉付きの胴体を家に持ち帰り、なんとか形にしたのがこれです。ポーズが変だったたり、間違っているところがあつたりしますがなかなかカッコよく組みあがりました。未熟なところがある分、最初の標本には愛着が湧きますね。そして3匹も魚をもらえて、懇切丁寧に指導してもらって参加費800円とはなんてお得なイベントなのでしょう。

佐竹



上下：キチヌの骨格標本。体長30センチほど。



カッパ。東京で2匹にしました。

お名前： 迫

大阪府枚方市在住。
2人の子持ちの主婦です。ナースです。
毎日新聞の記事でホネホネを知り、すぐに入団
したいと思いましたが、動物の骨格に興味津々です。
未知の世界イ色々勉強したいと思っております。
よろしくお願ひします。

お名前： 早山

東京在住。生ごみの好き。博物館大好き！
好きな動物はホンドタヌキ。タヌキを求め
里地里山を巡ること十数年。ケッチャ
先生。エッセイに憧れ。骨取りに手を出し
大阪の地までやってきました。



よろしくお願ひ申し上げます。

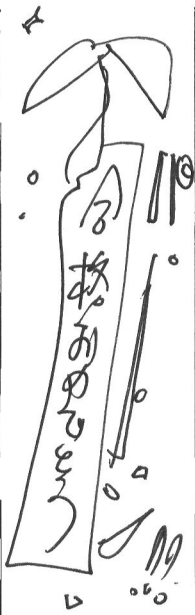
お名前： 石橋

改め **オカン** です。

神戸市在住。
古生物好きの普通の会社員です。
よろしくお願ひします。

お名前： 山下

京都在住。
古生物好き。博物館大好きです。
皆さん仲良くして下さい”
よろしくお願ひします (^_^)/



左：入団試験は大盛況

お名前： 前田

現在専門学校生です。
趣味は登山、昆虫採集、アクリウム等。
小動物の骨格標本や、ハ虫類、魚の透明標本に興味があります。
よろしくお願ひします！

お名前： 林

富山出身 → 奈良5年 → 大阪3年
趣味 手芸・中国語・旅行
掃事が出来るなら、どんな活けの中
でも生きていきます。
来世は100バに生まれたい

お名前： 中屋

現在大学3年生です。
フレディ、マ、セソーが好きです。
今日は新しく可愛い靴を履きました。
とても可愛い靴を履きました。
しかし！それ以上の楽しさでした！

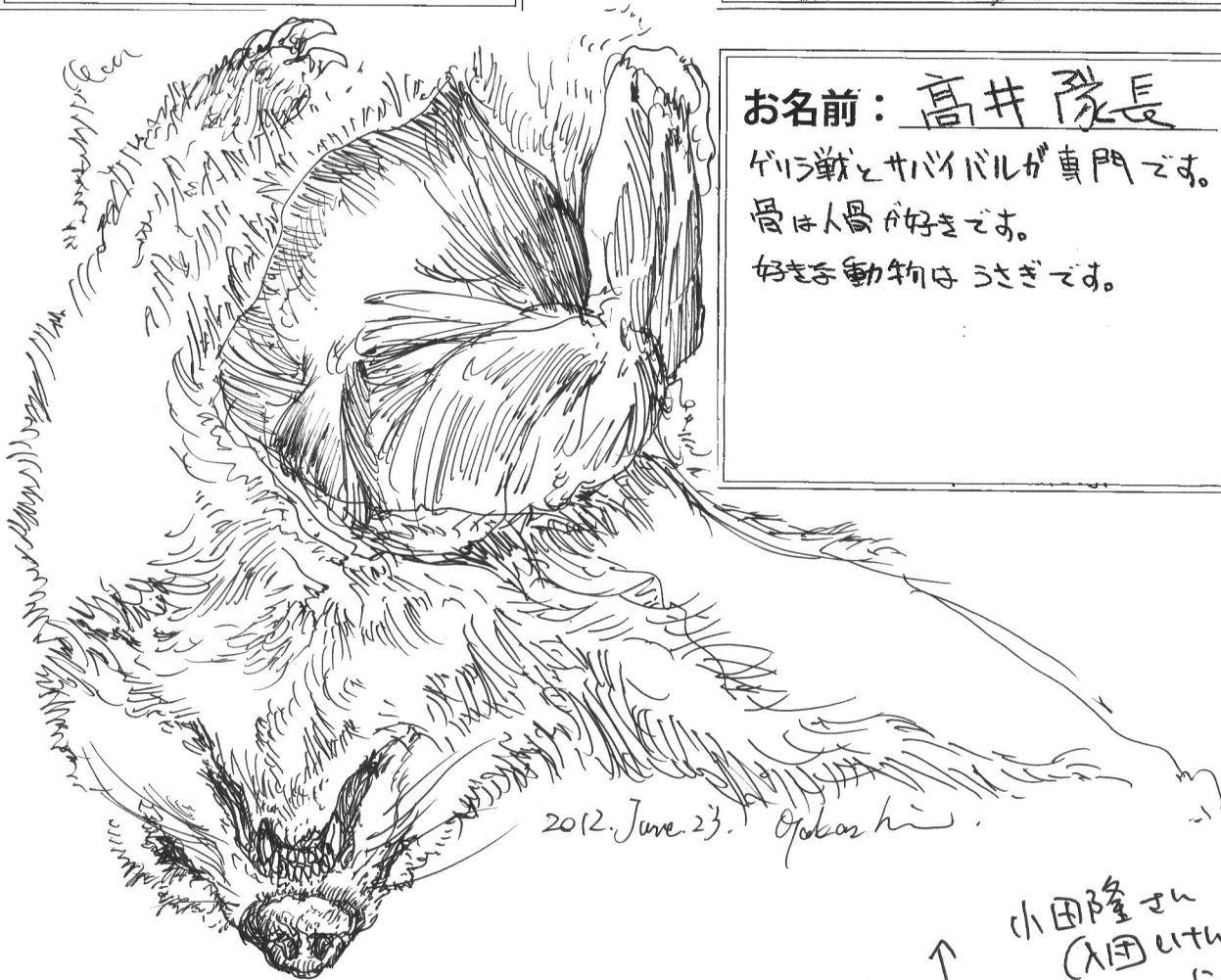
お名前： 前田 (アオガチョウ)



イラストレータ
しております。
これから沢山の
勉強させて
いただきます！
<http://aogachou.com>

お名前： 高井 隆長

ゲリラ戦とサバイバルが専門です。
骨は人骨が好きです。
好きな動物はうさぎです。



2012. June 23. Gokan hi.

↑ 小田隆さん (入団途中) に送ります
たぶん10万円くらい



「日本動物解剖図説」

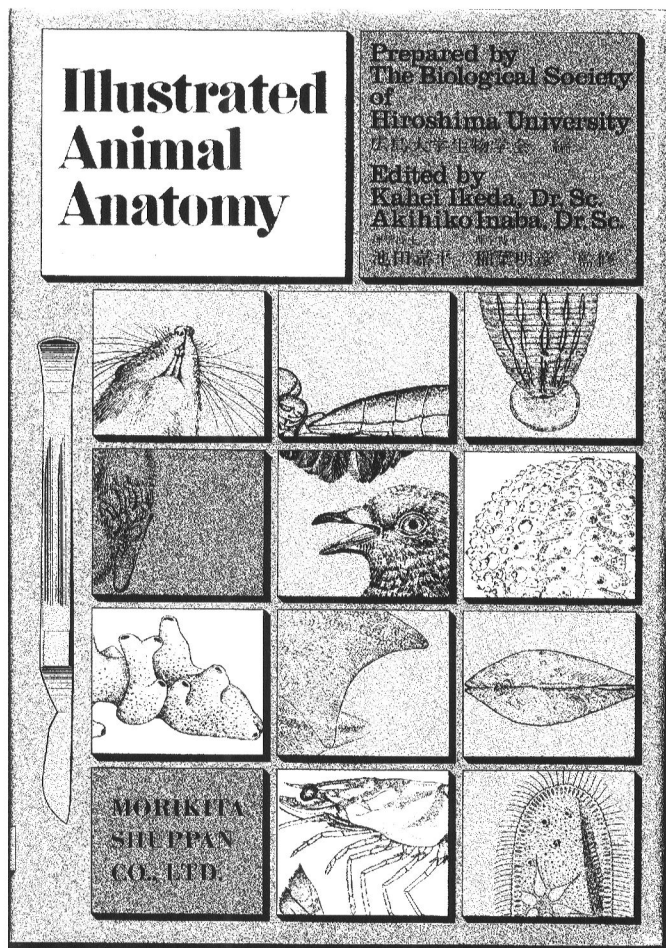
著者 広島大学生物学会
出版社 森北出版(1971)
ISBN 9784627260207
価格：¥8,400(税込)

身近な動物を徹底解剖！

とても古くて入手が難しい上にちよつとお高いですが、面白いので紹介します。文章は

冒頭の序文のみ、あとはひたすら動物の解剖図です。その動物も、ラットにハト、シマヘビ、イシガメ、ヒキガエルなど身近な動物ばかりを取りあげています。そしてバッタやムカデ、エビ等の節足動物やタコ、イカ、貝などの軟体動物をはじめとする様々な無脊椎動物がページの半分以上を占めています。ミミズやプラナリアの解剖図を見ているだけで何だか楽しい気分になってきます。最後はゾウリムシです。さすがに解剖図ではなく顕微鏡で観察した図ですが、もちろんホネホネ団的にも脊椎動物の解剖図が一通り載っている、用語は古いですが各部の名称がわかるので何かと役立つ一冊です。

すごくいい本です。佐竹



2012年1月22日

場所：大阪市立自然史博物館 実習室

担当：団長、副団長、事務局長

参加者数：35名(見学者8名↓新入団1名)

内容：アライグマ8体の皮剥き。ツキノワグマ1体、イノシシ2体の皮なめし。イノシシ1体のホネの処理。アオウミガメ2体の処理。
備考：アライグマ祭り。

2012年2月10日

場所：大阪市立自然史博物館 実習室

担当：団長、副団長、事務局長

参加者数：22名(見学者7名)

内容：コミミズク1体、ヒヨドリ2体、カワラヒワ2体、バーバリーシブ1体、シカ頭4つの皮剥き。イノシシ、ダチョウのホネの処理。
備考：週末の部屋の争奪に破れ、長期休み中でもないので平日の定例活動日。

2012年3月31日

場所：大阪市立自然史博物館 実習室

2012年4月1日

場所：大阪市立自然史博物館 実習室

担当：団長、副団長、事務局長

参加者数：39名(見学者14名↓新入団4名)

内容：ハイツカ1体、バン1体、キジバト1体、ツグミ1体、キビタキ2体、カワラヒワ1体、スズメ1体、アライグマ3体、タヌキ1体の皮剥き。シカ、アライグマ、タヌキのホネの処理。

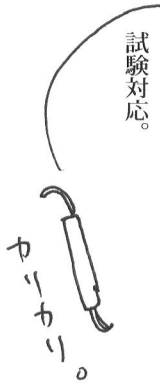
2012年4月30日

場所：大阪市立自然史博物館 実習室

担当：副団長

参加者数：31名(見学者12名↓新入団4名)

内容：アライグマ2体、タヌキ3体、ハクビシン1体の皮剥き。ミニブタ、シカのホネの処理。
備考：諸般の事情でプチ活動日。おもに入団試験対応。



取材記録と

遠征報告

2011年9月

【遠征】

第1回東北遠征ワークショップ「きょうは1日、化石であそぼ！」

9月16日 岩手県遠野市

9月17日 岩手県下閉伊郡山田町

9月18日 岩手県大船渡市

参加者：団長、阿久津団員、河原風花団員、谷団員、中村(吉見)団員、岩佐団員、小牧団員、山田ニジ団員、石田学芸員、河原和子、ホネホネファンクラブ長

【取材・掲載記事】

9月17日 毎日新聞 震災関連の情報欄「希望新聞」欄に、子どもワークショップ「きょうは1日、化石であそぼ！」が掲載

9月18日 東海新報 朝刊 大船渡市立博物館でのイベント情報が掲載。大船渡市エリアで購読者数が多い地方紙。日中も、岩手日報、岩手日日新聞、東海新報の3社が取材に。



2011年10月

【遠征】

10月1日 滋賀県 成安造形大学 日本美術解剖学会・2011関西大会

HONE展会場で団長がギャラリートーク
参加：団長、浜口団員、阿久津団員、岩佐団員

10月23日 神奈川県 江ノ島水族館 ホネホネハロウィンワークショップ
参加：団長、乾団員

【取材・掲載記事】

10月2日 フリーペーパー『ウーマンライフ』
大阪市中央エリア版/教育欄 君も、なにわホネホネ団に入らないか!? ※3回連載
WEB版のバックナンバーが読めます。
<http://www.womanlife.co.jp/topics/detail.html?k=1006>

2011年11月

【遠征】

11月5日 第2回 東北遠征ワークショップ
岩手県陸前高田市
11月6日 第1回東北遠征ワークショップ
岩手県下閉伊郡大槌町

参加者：団長、阿久津団員、谷団員、高田団員、浜口団員、山田ニジ団員、梅本団員、河原和子、ホネホネファンクラブ長

11月19日 滋賀県 成安造形大学公開講座「ニワトリの頭骨標本を作る」
参加：団長、乾団員、浜口団員、岩佐団員、山田ニジ団員

11月26日 京都市 京都造形芸術大学アートミーツケア学会関西大会 岩手遠征のポスターセッションに参加
参加：団長、浜口団員、阿久津団員、岩佐団員、山田ニジ団員、河原和子、ホネホネファンクラブ長



2011年12月

【遠征】

12月13日 長岡京市 関西博物館研究会 岩手遠征報告
参加：団長、中村(吉見)団員

2012年1月
1月24日 大阪市 カフェスロー大阪 サイエンスカフェ
参加：団長、浜口団員、阿久津団員、岩佐団員、山田ニジ団員

12月13日 長岡京市 関西博物館研究会 岩手遠征報告
参加：団長、中村(吉見)団員

【遠征】

2012年2月
2月2日 滋賀県 成安造形大学 イノシシの皮むきヘルプ
参加：団長、阿久津団員、浜口団員

2月6日 東京都町田市 原町田幼稚園 ホネホネワークショップ
参加：団長

【取材・掲載記事】

1月29日 大阪市 天王寺動物園 ホネホネワークショップきしわだin天王寺動物園
いろんな鳥のペリットほぐしてホネ探し。
参加：松本団員、団長、浜口団員、山田ニジ団員、阿久津団員

【取材・掲載記事】

大阪市立自然史博物館友の会会報「ネイチャースタディ」2012年1月号 『被災

地岩手県での子どもワークショップ報告』団長

【遠征】

2012年3月
3月12日 吹田市 小さいとこサミット 岩手遠征報告と展示

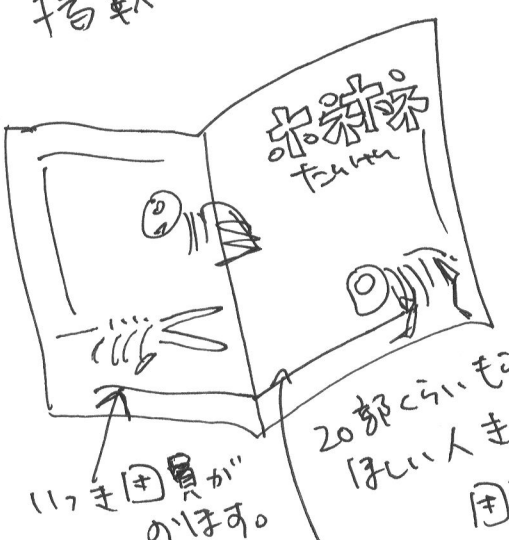
【取材・掲載記事】

3月号 岩手遠征の報告記事 団長 ミュゼ

【遠征】

3月12日 吹田市 小さいとこサミット 岩手遠征報告と展示

このあと...
読売KODOMO新聞
に見ゆきとん!と
掲載されます!



20部くらいもらってほしい人まわす。 団長
11月(+)員がのほろ。 岡崎 団員ありす。

広告

— 好評発売中! —

『獣の標本作成ガイド 解剖編』

～道ばたから収蔵庫まで～

団長 西澤真樹子 著
2005年刊 37ページ
簡易製本 価格 250円

増刷!

ちびり
改訂
ほした!!



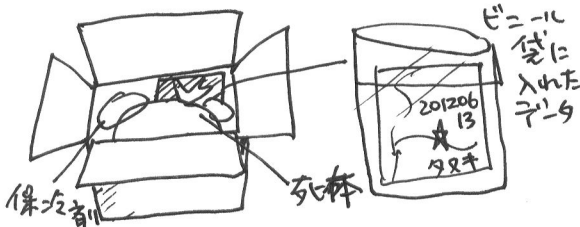
口でつかみ中は、
ご迷惑をおかけしました。

なにわホネホネ団からのお願い

死体は重要な標本です。ぜひ回収して博物館まで届けてください。届けるときにはビニール袋で3重ぐらいに包んでください。直接持ち込むほか、冷凍の宅配便も利用できます。着払いでも結構です。その際、内容は「標本」「サンプル」とお書き下さい。
送ったり、持ち込んだりするときには、ホネホネ団まで連絡をください。標本の採集日、採集場所（地図のコピーに印でOK）および採集者の名前を書いたメモを同封することを忘れなく!

お問い合わせ先

大阪市立自然史博物館
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp>
動物研究室 和田学芸員
wadat@mus-nh.city.osaka.jp



編集後記

記事募集

私物標本に書いたとおりのきつかけで、編集子は魚のホネにはまっています。勢いにかせてもう5体も作ってしまいました。スパーや魚屋で特売の鯛など見つけると、つい買いそうになってしまいます。もう2度ほど買いましたけど。500〜1000円程度で一週間以上楽しめるので、実にコストパフォーマンスの高い遊びです。

魚のホネ作りのいいところは、食材なので台所で気軽に扱える点です。濡らしたペーパータオルとラップに包んで電子レンジでチンして剥くと、とっても簡単です。ただし先にヒレは外しておきます。また魚の種類によつては歯が脱落するので注意が必要です。

食材だからといって油断は出来ません、魚の肉はとっても生臭いのです。決して洗面台で汚れた道具や手を洗ってはいけません。臭いが染み付いて、何日もとれません。歯を磨くたびに臭いと、家族から大変躰をかいまして。こうなってしまうてはちょっとやそつでは取れませんが、熱湯を流すのとマジックリンなど強力に油污れを落とす洗剤は効果的でした。魚の生臭汚れは台所か屋外の流しで洗いましょ。肉や内臓を触るときは手袋をしたほうが良いです。吊革を握った自分の手が生臭いことに気付いてももう手遅れですのど...

ホネホネ団通信では、常に原稿を募集しています。原稿用紙半分程度の短いものから超大作まで幅広く受け付けています。手書きでもパソコンでもOK、イラストや写真もありです。投稿方法は電子メール、博物館へ郵送したり持つていく、活動日に手渡しなどです。送料や交通費は自己負担でお願いします。内容はホネに関すること全般ですが、例えば：活動報告・活動日にこんな作業をした、ホネホネ団の活動でどこかに行った、ホネを見に行った、死体やホネを拾った、入団試験を受けたなど、何かしたら記事を書いてください。私物標本・個人で色々拾ったり組み立てたりしている方も多と思います。拾ったホネ、組み立てたホネ、組立中のホネ、ホネにする予定の死体など、何か持っていたら写真とエピソードを寄せてください。
本紹介・ホネに関する本を紹介してください。読書感想文の宿題が出たら、ホネに関する本にして、ホネホネ団通信にも送ろう!
他にも編集から色々記事を依頼しますので皆様よろしくお願いたします。

ご了承ください



作成の手間を省くために原稿の校正を編集が勝手にしています。大幅変更は投稿者に確認しますが、内容が変わらない程度であれば通知しないことがあります。

ホネホネ団通信編集 佐竹

ged03100@nifty.ne.jp